

TOEI SHINKIN BANK REPORT 2017.9

# 東榮信用金庫の近況

平成29年9月30日現在



## ごあいさつ

いつも東栄信用金庫をご利用いただきありがとうございます。

本誌は、平成29年9月末時点での事業概況をご報告させていただき、地域の皆様に当金庫についてのご理解をより一層深めていただけるよう作成いたしました。

ぜひ、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

東栄信用金庫は、お客様のご繁栄と地域の発展に貢献できるよう、役職員一同努力してまいります。今後ともご愛顧とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

理事長 北澤 良且

## 預金積金・貸出金の状況

	平成29年9月末
預 金 積 金 (残高)	128,688
貸 出 金 (残高)	60,182

《参考》 (単位：百万円)

平成29年3月末	平成28年9月末
127,610	127,361
61,040	60,329

## 利益の状況

	平成29年9月末
経 常 利 益	338,007
当 期 純 利 益	309,184

《参考》 (単位：千円)

平成29年3月末	平成28年9月末
921,837	387,774
748,310	367,623

## 貸出金の業種別内訳

区 分	平成29年9月末
製 造 業	4,671
農 業、林 業	—
漁 業	—
鉱業、採石業、砂利採取業	—
建 設 業	5,176
電気・ガス・熱供給・水道業	50
情 報 通 信 業	396
運 輸 業、郵 便 業	1,898
卸 売 業、小 売 業	2,326
金 融 業、保 険 業	1,626
不 動 産 業	24,314
物 品 賃 貸 業	249
学術研究、専門・技術サービス業	107
宿 泊 業	—
飲 食 業	549
生活関連サービス業、娯楽業	950
教 育、学 習 支 援 業	58
医 療、福 祉	445
そ の 他 の サ ー ビ ス	1,025
国・地方公共団体	459
個人(住宅・消費・納税資金等)	15,875
合 計	60,182

《参考》 (単位：百万円)

平成29年3月末	平成28年9月末
4,509	4,659
—	—
—	—
—	—
5,737	5,660
52	2
424	346
2,019	1,575
2,320	2,290
1,625	1,721
23,543	23,487
216	194
95	85
—	—
537	560
953	951
61	65
281	276
1,151	1,266
473	486
17,037	16,697
61,040	60,329

## 地域貢献活動等

東栄信用金庫は、信用金庫としての枠にとどまらず、地域文化交流への参加、環境整備等に皆さまと一体となって取組み、さまざまな分野でお役に立ちたいと考えております。

### ■ 環境問題への取組み

当金庫は、地球温暖化対策や循環型社会の構築へ向けた取組みを行い、持続的発展が可能な地域社会の実現に向けて、「信用金庫業界の環境自主行動計画にかかる数値目標」に則り、電力使用量の削減目標を平成25年度から平成32年度までの「第一計画期間」は、平成21年度比10.5%の削減、平成33年度から平成42年度までの「第二計画期間」は、平成21年度比19.0%の削減を数値目標として、引き続き積極的に取組んでおります。

### ■ 愛の献血運動

献血運動を毎年行っております。この活動には地域の皆様にもご参加頂いております。



### ■ 交通安全運動

春・秋に行われる全国交通安全運動に協力しています。各店の職員が街頭活動に参加し、地域の皆様の安全に貢献しております。



### ■ 清掃活動

地域の美化活動に協力して、職員の参加により店舗周辺の清掃活動を行っております。



### ■ 相談業務 「年金相談会」

社会保険労務士による『年金相談会』を各営業店ごとに年間1回無料で開催しております。



### ■ 企業支援活動

#### 《第9回 ビジネス交流会》

シグマバンクグループ4金庫合同でビジネス交流会を開催いたしました。参加企業316社、うち出展ブース企業63社、約800名の方にご来場頂き商談が行われました。



#### 《第9回 新現役交流会》

お取引先企業の様々な経営課題解決への取組みとして、新現役交流会を経済産業省関東経済産業局・東京都信用金庫協会の共催により開催し9社が参加しました。



#### 《東京都よろず支援拠点 出張相談会》

地域における中小企業の支援体制を強化することを目的として経済産業省・中小企業庁の「中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業」により開設された『東京都よろず支援拠点』と連携し出張相談会を毎月開催しております。

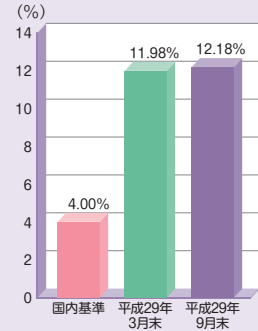


## 単体自己資本比率

(参考) (単位: 百万円)

項目	平成29年 9月末	経過措置による 不算入額	平成29年 3月末	経過措置による 不算入額
<b>コア資本に係る基礎項目 (1)</b>				
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	8,597		8,288	
うち、出資金及び資本剰余金の額	577		576	
うち、利益剰余金の額	8,020		7,728	
うち、外部流出予定額 (△)	—		17	
うち、上記以外に該当するものの額	—		△ 0	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	92		94	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	92		94	
うち、適格引当金コア資本算入額	—		—	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45%に相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	388		388	
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	9,078		8,770	
<b>コア資本に係る調整項目 (2)</b>				
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	11	7	12	8
うち、のれんに係るものの額	—	—	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	11	7	12	8
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	11		12	
<b>自己資本</b>				
自己資本の額 ((イ)-(ロ)) (ハ)	9,067		8,758	
<b>リスク・アセット等 (3)</b>				
信用リスク・アセットの額の合計額	70,773		69,479	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△ 438		△ 1,092	
うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)	7		8	
うち、繰延税金資産	—		—	
うち、前払年金費用	—		—	
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△ 1,679		△ 2,333	
うち、上記以外に該当するものの額	1,233		1,233	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	3,620		3,620	
信用リスク・アセット調整額	—		—	
オペレーショナル・リスク相当額調整額	—		—	
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	74,394		73,099	
<b>自己資本比率</b>				
自己資本比率 ((ハ)/(ニ))	12.18%		11.98%	

自己資本比率は、12.18%と国内基準を大きく上回っております。



自己資本比率は、金融機関の健全性や安全性をはかる重要な指標となっており、国内業務のみを行う金融機関に適用される基準は4%以上です。

当金庫の平成29年9月末における自己資本比率は、12.18%と国内基準を大幅に上回っております。

今後も地域の皆さまに安心してお取引いただけますよう、自己資本の充実に努め堅実経営を心掛けてまいります。

(注) 自己資本比率は、「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。当金庫は国内基準を採用しております。

## 金融再生法による開示債権

(単位: 百万円、%)

区分	開示残高 (a)	保全額 (b)	担保・保証等による回収見込額 (c)	貸倒引当金 (d)	保全率 (b)/(a)	引当率 (d)/(a-c)	
金融再生法上の不良債権	29年3月末	2,507	2,382	2,176	206	95.00	62.21
	29年9月末	2,453	2,289	2,075	214	93.30	56.57
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	326	326	318	8	100.00	100.00
	29年9月末	244	244	244	0	100.00	100.00
	危険債権	2,033	1,953	1,757	195	96.03	70.82
	29年9月末	2,005	1,890	1,679	210	94.25	64.65
要管理債権	29年3月末	147	102	100	2	69.69	4.62
	29年9月末	203	154	151	2	75.90	5.75
正常債権	29年3月末	59,028					
	29年9月末	58,156					
合計	29年3月末	61,536					
	29年9月末	60,610					

(注) 1. 債務者区分については、原則として平成29年3月末時点における自己査定による債務者区分を基準としております。ただし、4月1日から9月末までに倒産、不渡り等の客観的な事実の発生により債務者区分の変更があった債務者については、当金庫の定める基準に基づき、債務者区分見直し後の債務者区分により掲載しております。

2. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

3. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

4. 「要管理債権」とは、「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。

5. 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。

6. 上記の平成29年9月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定するカテゴリにより分類しております。

## 有価証券等の取得価額、時価及び評価損益

### ■ 売買目的有価証券

お取扱いはございません。

### ■ 満期保有目的の債券

区 分	種 類	平成29年9月末		
		貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国 債	5,015	5,708	693
	地 方 債	6,396	7,007	611
	短 期 社 債	—	—	—
	社 債	14,015	14,700	685
	そ の 他	8,612	8,943	331
	小 計	34,038	36,360	2,321
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国 債	—	—	—
	地 方 債	—	—	—
	短 期 社 債	—	—	—
	社 債	1,832	1,809	△ 23
	そ の 他	2,300	2,204	△ 95
	小 計	4,132	4,013	△ 118
合 計		38,171	40,373	2,202

〈参考〉

(単位：百万円)

平成29年3月末		
貸借対照表計上額	時価	差額
5,514	6,172	658
6,397	6,993	595
—	—	—
14,262	14,912	649
8,471	8,787	316
34,645	36,866	2,220
—	—	—
—	—	—
—	—	—
2,719	2,667	△ 51
3,136	2,996	△ 139
5,855	5,664	△ 191
40,501	42,530	2,028

(注)1.時価は、期末日における市場価格等に基づいております。

2.上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。

3.時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

### ■ その他有価証券

区 分	種 類	平成29年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株 式	667	607	59
	債 券	1,288	1,197	91
	国 債	—	—	—
	地 方 債	—	—	—
	短 期 社 債	—	—	—
	社 債	1,288	1,197	91
	そ の 他	4,179	3,928	250
	小 計	6,136	5,733	402
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株 式	984	1,065	△ 81
	債 券	—	—	—
	国 債	—	—	—
	地 方 債	—	—	—
	短 期 社 債	—	—	—
	社 債	—	—	—
	そ の 他	6,659	6,801	△ 141
	小 計	7,644	7,866	△ 222
合 計		13,780	13,600	179

〈参考〉

(単位：百万円)

平成29年3月末		
貸借対照表計上額	取得原価	差額
273	232	40
1,078	997	81
—	—	—
—	—	—
—	—	—
1,078	997	81
3,113	2,930	183
4,466	4,160	306
1,201	1,309	△ 108
1,079	1,091	△ 12
979	991	△ 12
—	—	—
—	—	—
99	100	△ 0
5,650	5,802	△ 151
7,930	8,203	△ 272
12,396	12,363	33

(注)1.貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。

2.上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。

3.時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

### ■ 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

区 分	平成29年9月末	
	貸借対照表計上額	
非 上 場 株 式	11	
組 合 出 資 金	—	
合 計	11	

〈参考〉

(単位：百万円)

平成29年3月末	
貸借対照表計上額	
11	
—	
11	

# 金融仲介機能のベンチマークの公表について

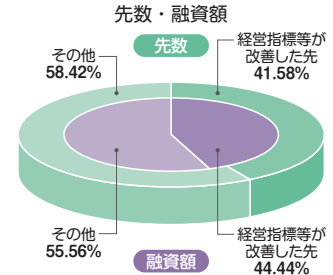
平成28年9月に金融庁から公表された「金融仲介機能のベンチマーク（金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる多様な指標）」を踏まえ、当金庫の取組み状況についてお知らせいたします。

今後とも、地域のお取引先のニーズや課題に応じたソリューションの提供などに取組み、地域経済の活性化に貢献してまいります。

## ■ 平成29年3月末のベンチマーク評価

### (1) 取引先企業の経営改善や成長力の強化

区分	先数		融資額(百万円)		改善した先の融資残高推移	
	(H29/3)	構成比(%)	(H29/3)	構成比(%)	(H28/3)	(H27/3)
メイン先	505	100.00	207	100.00		
経営指標等が改善した先	210	41.58	92	44.44	84	86
その他	295	58.42	115	55.56		
当金庫が関与した創業件数	11件					



### (2) 事業性評価に基づく融資等、担保・保証に過度に依存しない融資（担保・保証依存の融資姿勢からの転換）

#### ● 事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資残高

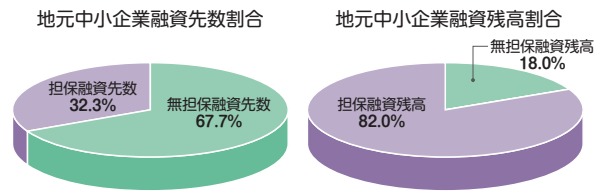
	先数	融資残高(百万円)
事業性評価融資	12	267

#### ● 地元の中小企業と信先のうち、無担保と信先数、及び、無担保融資額の割合（先数単体ベース）

先数割合	先数	構成比(%)
地元中小と信先数	1,611	100.0
無担保融資先数	1,091	67.7
担保融資先数	520	32.3

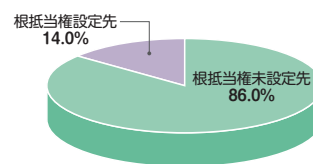
  

融資残高割合	残高(億円)	構成比(%)
地元中小向け融資残高	433	100.0
無担保融資残高	78	18.0
担保融資残高	355	82.0



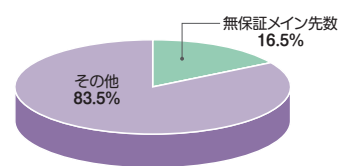
#### ● 地元の中小企業と信先のうち、根抵当権を設定していない与信先の割合

先数割合	先数	構成比(%)
地元中小と信先数	1,611	100.0
根抵当権未設定先	1,385	86.0
根抵当権設定先	226	14.0



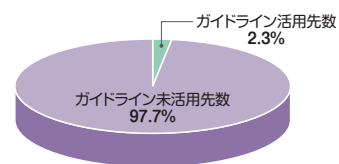
#### ● 地元の中小企業と信先のうち、無保証メイン取引先数の割合

先数割合	先数	構成比(%)
地元中小と信先数	1,611	100.0
無保証メイン先数	266	16.5
その他	1,345	83.5



#### ● 経営者保証に関するガイドラインの活用先数、及び、全与信先数に占める割合

先数割合	先数	構成比(%)
全与信先数	1,626	100.0
ガイドライン活用先数	37	2.3
ガイドライン未活用先数	1,589	97.7



本部 葛飾区新小岩1-52-8 ☎ 03-5607-1121  
 本店営業部 葛飾区新小岩1-52-8 ☎ 03-3653-3111  
 松島出張所 江戸川区松島4-40-3 ☎ 03-5607-5001  
 立石支店 葛飾区立石1-17-12 ☎ 03-3692-4811  
 亀戸支店 江東区亀戸3-46-17 ☎ 03-3684-1111  
 江戸川支店 江戸川区一之江7-29-7 ☎ 03-3652-4821

葛西支店 江戸川区東葛西5-45-3 ☎ 03-3680-3521  
 篠崎支店 江戸川区篠崎町1-30-52 ☎ 03-3678-2111  
 浦安支店 浦安市堀江2-29-6 ☎ 047-352-1111  
 新堀支店 江戸川区新堀2-16-16 ☎ 03-3677-4911  
 奥戸支店 葛飾区奥戸4-14-12 ☎ 03-5670-6111  
 本一色支店 江戸川区本一色3-24-16 ☎ 03-5662-2111